



いわいずみ



出発地点を示す横線。
それらと心。

「志」は、
動詞「こころざす」の
連用形が名詞化した語。
士は、
歩み出す足の

P2 特集 共に考えましょう 議員の定数と報酬

- P 6 4 年度決算
災害復興事業から新型コロナの対応
- P 8 決算審査 ここをチェック
町に住んで奨学金が免除
- P13 町の考えを問う (7 議員が一般質問)

シリーズ キラッと光る人 ④

ちだゆき 千田由樹さん (33 歳) は、うれいら通り商店街にある創業 191 年の老舗菓子店「志たあめや」5 代目の政二さんの孫。今年 7 回目のためきケーキまつりは少しずつ全国の人に知ってもらっていて、10 回目には何かやりたいと志しています。

◇表1 岩泉町議会の議員定数の変遷

選挙執行	定数	人口：3/31 (議員一人 当たりの人口)
S32年4月21日 合併後第1回 町議会選挙	30人 岩泉8人 小川8人 大川5人	27,774人 (925.8人)
S31年9月30日 1町4村合併 S32年4月21日 旧小川村編入	小本4人 安家3人 有芸2人	
S52年4月24日	26人	20,402人 (784.7人)
S60年4月21日	22人	17,565人 (798.4人)
H17年4月24日	18人	12,517人 (695.4人)
H21年4月26日	16人	11,489人 (718.1人)
H25年4月21日	15人	10,690人 (712.7人)
H29年4月23日	14人	9,736人 (695.5人)

議員定数は、各自治体の条例で定められています。本町の議員定数は14人です。以前は、人口区分に応じた法定上限数が法律で定められていましたが、平成23年に廃止。各自治体の判断に基づき自由に定めることとされました。

人口減少の局面で「定数削減」か「現状維持」か、検討しています。

定数

削減か現状維持か

町議会の役割は 議決と監視機能

町議会は、町民全体の代表として議会の意思を決定する「議決機能」の役割や町行政の執行に対し、町民の意思を反映しているかを監視するなどの重要な



現在の議員数は13人（定数14人に対し1人欠員の状況）

◆**現状維持の主な意見**

- ・ 常任委員会での議論を考慮すると、現状の人数は必要。
- ・ 定数減は、広大な本

◆**定数減の主な意見**

- ・ 人口減少に伴い妥当である。
- ・ 現状の1人欠員でも影響がない。
- ・ 議員報酬を上げるのであれば、定数減で住民の理解が得られる。

役割があります。議会の機能を十分に發揮するために必要な議員定数を考えていかなければなりません。

町で住民の声を汲み取りにくくなる。



町政全般に関わることを協議

共に考えましょう 議員の定数と報酬



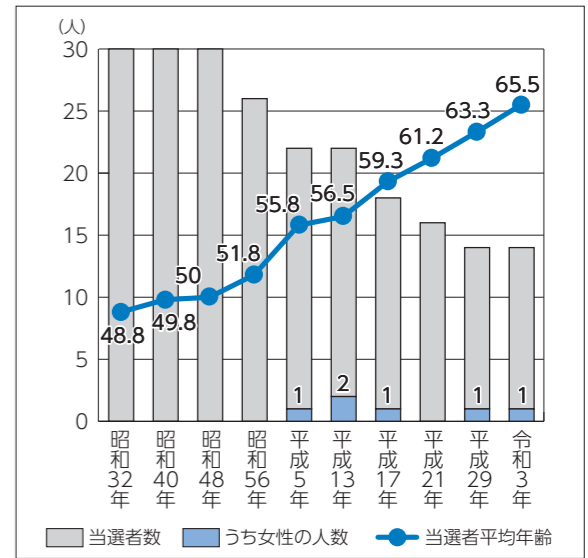
子どもたちの未来を見据えて一緒に考えましょう

岩泉町議会では、次回の一般選挙（令和7年4月予定）に向けて、適正な議員定数と報酬の検討を重ねています。

人口減少が進む中で、議会の役割を果たしていくため、年齢や性別など多様な人材の議員を確保することが課題となっています。

将来の議会のありようを見据えて、共に議員定数と報酬を考えてみましょう。

◇グラフ1 岩泉町議会議員選挙
当選者の平均年齢と女性議員数の推移



議会改革の一環 定数と報酬検討

議会基本条例推進委員会（畠山和英委員長）は、議会改革（5ヶ年参照）の一環として、議員定数と報酬の見直しを検討してきました。

町議会議員の 多様性が課題

人口減少や高齢化が進む中、町の課題は多様化・複雑化しています。町民の幅広い意見を集約し、地域社会の

在り方を議論する議員には、多様な人材が求められています。

一方で、町議会議員の平均年齢は上昇を続け、女性議員も少なく、性別や年齢構成の面で議員の多様性が課題となっています。

女性や若者、勤労者など幅広い町民が議員になれる環境を整え、活動しやすくするためには、待遇改善なども検討していく必要があります。



定例会は本会議場で行います

議会運営委員会

議会の運営に関する事項や議長の諮問に関する事項などを担当します。

議会全員協議会

議員全員で行う会議です。審議や議決は行わず、議員全員が共通の認識を持つ必要がある事項を協議。必要に応じて開かれます。

定例会

年4回開催
(3月・6月・9月・12月)
会期は年間約50日です。

臨時会

定例会以外に必要な場合に開催

特別委員会

予算案や決算認定など特別委員会を設置して、定例会の会期中に審査を行います。

議員の仕事

報酬

立候補しやすい条件に

将来、多くの人が立候補をしやすき条件を整えるため、議員報酬を増額すべきかなど検討しています。

平成9年の改定以来、変わっていません。

子育て世代や若者などが議員報酬だけで生計を立てられる水準まで引き上げるべきと

本町の議員報酬 県内町村で中位

本町議会議員の報酬月額が21万円で、県内19町村の中では10位。

令和4年の県内町村議会議員の平均報酬月額が21万4千円。県内市議会議員36万6千円、岩手県議会議員77万円と比べると低額です。【◇表2・3参照】

◆増額の主な意見
・平成9年から変わらない。最低賃金も上がっており増額すべき。
・議員のなり手不足の解消の一助になる。生活給として考えるべき。

◆現状維持の主な意見
・現行の議員報酬が妥当である。
・町の財政規模を踏まえると妥当。

◇表2 特別職の平均報酬月額（R4年）の比較

Table with 5 columns: 区分, 議長, 副議長, 議員, 首長. Rows include 岩手県, 県内市, 県内町村.



多様な民意を反映させるため、立候補しやすい環境を

新たな原価方式による議員報酬の算定式

議会・議員の活動日数 [] 日 × 首長の給料 [] 円 / 首長の職務遂行日数 [] 日 = 議員報酬額 [] 円

◇表3 県内町村の報酬月額（R4年）

Table with 6 columns: 自治体名, 議長, 副議長, 議員, 順位(19町村), 人口(※). Rows include 紫波町, 矢巾町, 一戸町, 山田町, 葛巻町, 岩泉町.

議会改革のあゆみ

本町議会では、効率的で分かりやすい議会運営を行い、町民の意思を反映した「開かれた議会」を目指すため、議会改革に取り組んできました。ここでは、これまでの取り組みを振り返ります。

議会改革の経緯

平成12年4月に地方分権一括法(※)が施行され、国から地方への権限委譲が進み、地方議会の果たす役割が強くなりました。本町議会も議会改革を進めるため、特別委員会を設置し、議会運営の効率化や情報発信を図ってきました。

議会基本条例の制定

27年3月、開かれた議会を目指し、岩泉町

議会基本条例を制定。町民との意見交換会「議員と語る会」の開催を明文化しました。基本条例に基づき各種施策を推進するため、基本条例推進委員会を設置。本条例の目的が達成されているかどうかの検証を行い、必要に応じ条例の見直しなどを行っています。今回の議員定数と報酬の見直しでは「新たな原価方式による議員報酬(4.2%)」を検討し、議員活動などの実態調査を実施しました。

これまでの主な議会改革

H18年9月 岩泉町議会改革等調査特別委員会を設置
議員定数・議員報酬の検討、議会棟のバリアフリー、審議・審査状況の庁内放送

H21年12月 議会改革調査特別委員会を設置
議員定数の検討、長期欠席議員の議員報酬などの減額規定を条例化、傍聴規則の改正(傍聴しやすい環境整備)
◆議会改革の一環として「地域に向き、直接皆さんの声を聴くべき」と結論。

H24年11月 議員と語る会を開催

H25年6月 議会改革調査特別委員会を設置
広報広聴常任委員会の設置、基本条例の制定、基本条例に係る各種要綱の制定

H27年9月 ぴーちゃんねつとを活用し情報発信

H29年 議会情報の公開
会議録(条例補正・新年度・決算の特別委員会)を図書館へ配架
ホームページ掲載:会議録、議決結果一覧、一般質問と答弁、会期日程・議事日程

ますの声 議員の仕事わからない
議員がどういった仕事をしているか詳しくはわからないのが正直なところ。課題が山積していますが、福祉の充実など町民の安心安全のために一生懸命働いてほしいと思います。

ますの声 少子化が深刻
長年子どもたちを見てきていますが、少子化が深刻な事態になっています。難しいかも知れませんが、少しでも歯止めをかける政策などを期待します。

広報広聴常任委員会
議会だよりの発行、広聴(議員と語る会など)、情報提供などを担当

産業常任委員会
産業、経済、建設を担当
常任委員会でテーマを決めて調査

総務常任委員会
総務、民生、文教を担当
高校生と意見交換

常任委員会
所管する町の事務を調査したり、議案や請願などを審査。本町議会は3つの常任委員会を設置しています。

(※) 地方の裁量を増やし、国の管理を少なくするためにつくられた法律



4年度決算の詳細は町のHPから

持続可能な財政運営を



～決算審査意見～

9月13日の本会議で報告された決算審査意見の内容を要約してお伝えします。

坂本昇監査委員
(議会選出)

一般会計・特別会計

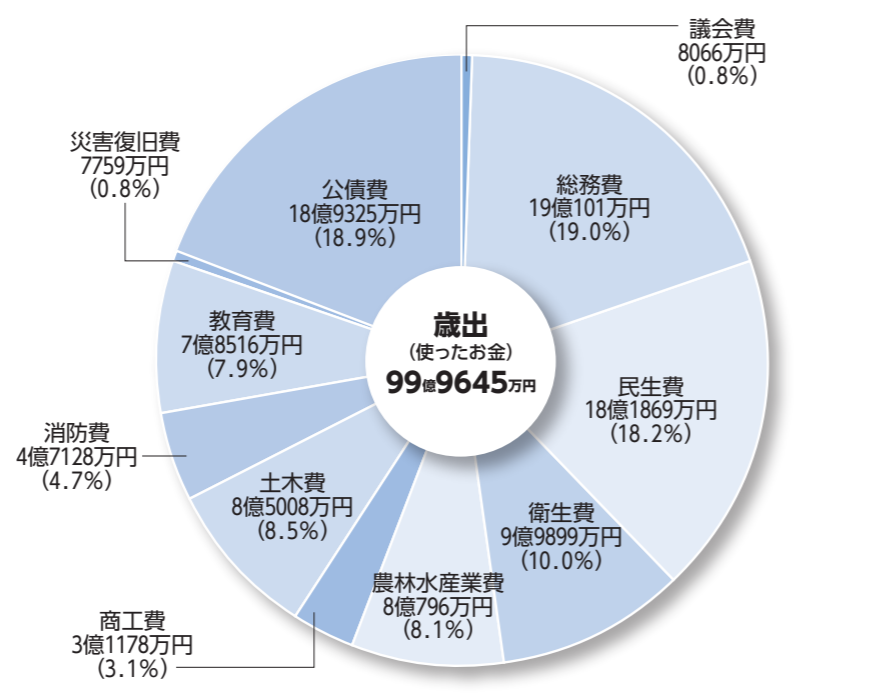
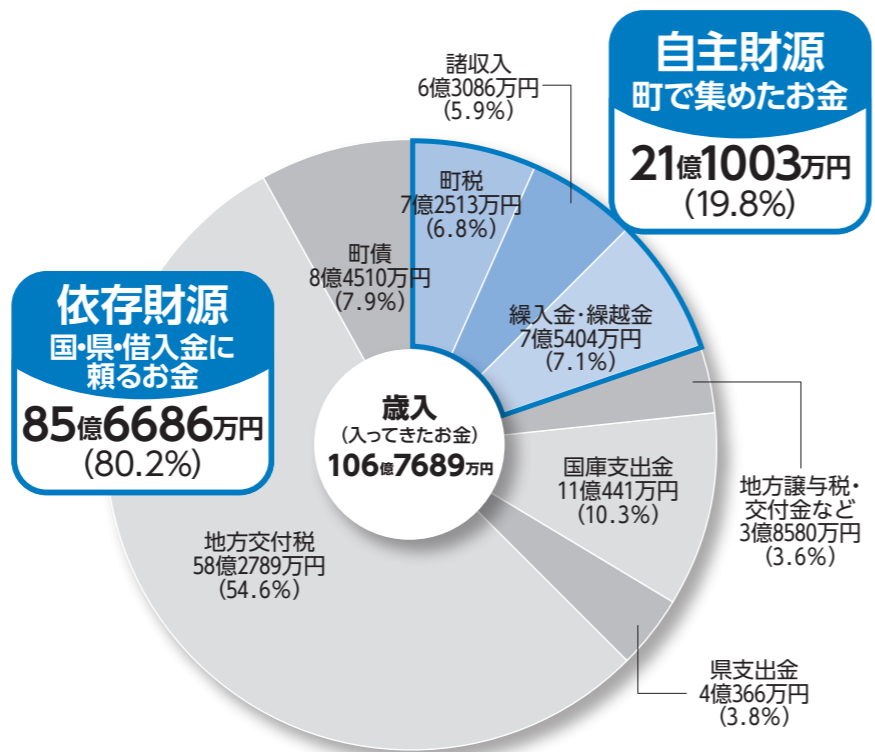
厳しい財政環境の中、実質公債費比率(※)は減少に転じ、町債(借金)現在高も減少。主要基金(貯金)の保有額は、台風災害を受けた平成28年度の水準を大きく超え、堅実な財政運営は評価する。

今後は、世界経済の悪化、生産人口の減少で厳しい財政状況が続くものと予測。将来にわたり安定した行政サービスを提供するために基礎的財政収支の黒字化を堅持し、持続可能な行財政運営に努められたい。

水道事業会計

人口減少による料金収入の減少、施設の老朽化の修繕や更新、燃料費の高騰など今後の経営環境はより厳しさを増すと考えられる。長期的な計画を策定し、経営の効率化と透明化を進め、一層の経営の健全化に努められたい。

一般会計決算の内訳



財政用語

【地方交付税】町の財政力に応じて国から交付されるお金
 【国庫・県支出金】町が行う事業に対して国・県から補助されるお金
 【町債】事業の財源に充てるため国などから借りたお金
 【地方譲与税】国税である自動車重量税などが一定の割合で町に交付されるお金
 【繰入金】積立金から取り崩したお金
 【諸収入】延滞金、預金利子などのお金
 【総務費】一般的に事務経費や財産管理などの経費
 【民生費】高齢者や児童など社会福祉のための経費
 【衛生費】集団検診やごみ処理などの経費
 【農林水産業費】農林水産業の振興や農道・林道の整備、漁港整備などの経費
 【商工費】商工業の振興や観光開発の経費
 【土木費】町道や河川整備などの経費
 【教育費】学校教育や社会教育などの経費
 【公債費】事業を行うときに借りたお金の返済金

4年度決算

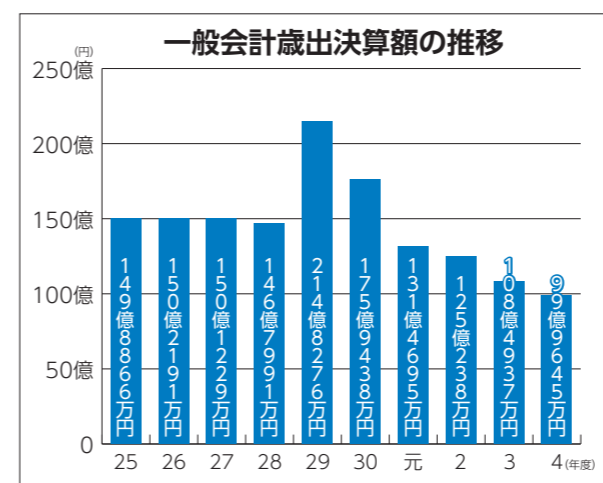
災害復興事業から新型コロナの対応

一般会計 歳出 13年ぶり 100億円を下回る

9月定例会は、9月13日から22日までの10日間の日程で開きました。
 4年度一般会計の歳出決算額は、東日本大震災以降13年ぶりに100億円を下回り、震災・台風災害からの復旧がほぼ完了。一般会計、6特別会計と水道事業会計の4年度決算を全会一致で認定しました。【関連8～9ページ】
 一般質問では7人の議員が登壇し、町政運営の課題をいただきました。【質問の内容は13ページ～17ページ】

コロナ関連決算額
 4億7127万円

127万円でした。
 ここでは、決算の状況をお知らせします。



会計名	歳入	歳出	
一般会計	106億7689万円	99億9645万円	
特別会計	国民健康保険 事業勘定	11億9497万円	11億6566万円
	国民健康保険 診療施設勘定	3446万円	3395万円
	後期高齢者医療 事業勘定	1億2179万円	1億2137万円
	介護保険 事業勘定	16億630万円	15億3186万円
	介護保険 サービス事業勘定	1120万円	1034万円
	観光事業	1億7897万円	1億7096万円
企業会計	公共下水道事業	2億3674万円	2億3087万円
	大川財産区	599万円	407万円
水道事業会計	収益的収支 3億9237万円	4億4401万円	
	資本的収支 6億2327万円	4億8668万円	
合計	150億8295万円	141億9622万円	

(※) 一般財源に対する公債費(借金)の比率。18%を超えると借入れに国の許可が必要

決算審査



町に住んで奨学金が免除 若者の定住促進につなぐ

若者の未来を拓くため、活用しやすい奨学金制度を（岩泉高校1年生）

決算審査特別委員会（三田地久志委員長）は9月20日から22日までの3日間、一般会計と6特別会計、水道事業会計の4年度決算を審査しました。
ここでは、特別委員会の審査の中からいくつかの内容を要約してお伝えします。

教育 定住型奨学金の実態は 現在、返還免除は3人

問 奨学金未済額の状況は。

答 奨学金の滞納は、1人。平成8年から12年分で、43万円となっている。

問 分納されて滞納額は減っているか。

答 他市町村で生活保護を受けており、納付できていない。

問 町に戻り定住または仕事をすれば奨学金の返還免除となる制度の実態はどうか。

答 返還免除は3人。内容は町内勤務者が1人、住所は町内で他市町村勤務者2人となっている。

問 免除となる制度の仕組みは。

答 免除要件は、町内に在住もしくは就労している者、町外の就業者で町民税を納めている者など。他市町村に在住し、奨学金を返還していた者が、岩泉町に戻ってきた場合は、その期間から免除になるもの。

おしゃべりちゃん 定住型奨学金とは？

若者の定住促進のため、町の奨学資金を借りた人が、高校や大学などを卒業後、町内で働く場合や町内に住んで近隣の市町村で働く場合などに町の奨学資金の返還が免除できます。



岩泉中 太鼓メンバーの皆さん

まずは声 奨学金の免除 進学の参考に

奨学金の免除制度は進学の際の参考になります。できれば活用して、岩泉に戻ってこれればいいな。

工 キッチンカー導入実績は 商 製菓業と小売業の2団体

問 キッチンカーなどの導入に対する支援補助金の実績は。

答 製菓業1社と小売業1社の2団体が導入。キッチンカーと移動販売車である。

問 利用状況の把握はしているか。

答 商工会とも連携し、検討する。

答 町のイベントなど要請には可能な限り応じることを条件としている。今後活動実態の把握に努める。

問 同様の事業は今後実施するか。

答 同様の事業は今後実施するか。

投票所 移動投票所の考えあるか 各地区の意見を聞き検討



有権者の投票しやすさを第一に

問 本年5月に行った投票所の統合に関するアンケートの内容と結果は。

答 有権者数が50人以下の投票区11カ所、対象者169人に実施。回収率は51%であった。今後の方向性は、回収率が半分であり判断が難しいと思われることから、6年度中に統合候補地区のうち3カ所を説明に回る予定である。

問 宮古市ではバスによる移動式の期日前投票所を開設。本町ではこの考えはないか。

答 移動投票所は、選挙区を統合する場合にはそのフォローをする策として有効である。今回のアンケートの中にも、移動投票所や投票日当日の送迎バスの声もある。今後、各地区に入り意見を聞きながら方向性を見いだしていく。

一般会計 総括質疑

総括質疑とは、審査する案件全般に対して行うもの。一般会計決算の総括質疑を要約してお伝えします。



千葉泰彦委員

問 安定した行政サービスには基礎的財政収支の黒字化を堅持し、持続可能な財政運営が求められる。行政サービスは増えても減ることとは。本年の出生

数は20人程。次世代に引き継ぐために、行政は本来業務に集中する戦略、多岐にわたる課題の取捨選択を進めることが重要。今後の町政運営に対する町長の考えは。

息子の送迎で 投票している

今は、息子に送迎してもらい投票しています。地区には投票所に行くのが大変な人がいます。町では移動投票所などの施策をお願いします。



大澤 タイ子さん (安家・86歳)

町長 人口減少により町政課題は多岐にわたっており、社会全体が硬直化している。町執行部、議会とも従来のやり方でいいのか、発想の転換が必要である。改善、改革を図り、費用対効果も一層吟味し丁寧に取り組んでいく。議会、経済団体をはじめ地域の皆さんと、本音で議論しながら、行政がやること、町民がやること、の整理をしながら、ワンチームとなり、寄り添った施策を進めていく。

愛土館 現行で延長するのか 現状は厳しいが検討

問 愛土館の復興支援員に対する財政措置はいつまでか。

答 7年度まで国の財源を活用できる。その後は愛土館の売り上げで運営する。

延長で考えているか。

答 4年度収支は310万円の黒字。支援員の設置委託料がゼロになると530万円の赤字になる。販路拡大など検討中。

現状の加工施設の規模では、増収は厳しい。方法を検討する。

問 事業の実施状況と今後現行事業の

現状の加工施設の規模では、増収は厳しい。方法を検討する。

畑ワサビ日本一を維持

ほ場整備に費用を負担



大牛内地区で畑ワサビ生産日本一協力隊として活動する藤岡翔さん

条例補正予算審査特別委員会（林崎寛次郎委員長）は9月19日、付託された条例1件、補正予算3件を慎重に審査。畑ワサビ生産量日本一を維持するため、大牛内地区のほ場（※）の整備費用を負担。5年度一般会計補正予算第4号など全ての議案を可決すべきものと決定。同日の本会議において全会一致で可決しました。ここでは、特別委員会の審査の中からいくつかの内容を要約してお伝えします。

農業 ほ場整備委託料とは

問 畑ワサビ大規模団地化ほ場整備事業委託料127万8千円の内容は。

かかる費用である。

答 整備事業は、令和2年度から実施。本年度も5畝の整備を計画しているが、大牛内地区のナラ枯れが広がっており、この伐採

問 畑ワサビ大規模団地化ほ場整備事業委託料127万8千円の内容は。

答 地域おこし協力隊などから、ほ場の希望があった場合、町の対応は。協力隊のほ場探しは、町も一緒に歩き候補地を見つけ、土地保有者とのつながり

農業 各農家へ事業の告知は 農 町と宮古広域でも案内

問 防霜対策施設設置事業の内容は。

答 山間部に防霜ファンを4基設置する計画で、それに伴う電気設備工事も含む。事業費の2分の1が国庫補助で、町は果樹農家の自己負担分を支援。果樹はリンゴである。

問 町内で果樹経営をしている農家の数と平均的な面積はいくらか。

答 果樹農家は25戸、平均的な経営規模は86坪である。

問 今後、導入希望者が増えた場合の対応

希望者は国に申請してもらい、その交付決定後に、追加支援を実施していく。各農家に対し、この事業の告知はどのように行っているか。町が各農家に案内をしていく状況。宮古広域からも果樹の協議会を通して案内をしている。

霜被害により 収穫量3割減



阿部 栄一さん (岩泉・60歳)

リンゴとスプレー菊を栽培しています。ここ2、3年は霜被害でリンゴの収穫量が約3割減少。今後も被害が懸念され、設備投資に踏み切りました。

まで支援している。

問 畑ワサビ農家の現状と今後の経営への取り組みは。

答 町内に約40戸の畑ワサビ農家が営農。2畝の規模で年間収量20ト、販売単価を乗じると約700万円である。畑ワサビは約半分の350万円が所得として残る。協力隊もこの面積を目指してほ場確保に当たっている。

(※) 農産物を育てる場所のこと

資料館 開館延期の理由は 見通しの甘さ原因



4月オープンに向け準備をスピードアップ

問 歴史民俗資料館は10月に開館との答弁だった。遅れるとのことだが、理由は。

答 当初、会計年度任用職員3人に対応。その後、諸事情により専門家が欠員となり現場の作業が進まず、識見者も手が回らない状況で遅れが生じた。本年度10月の開館は見込めず来年4月になる。見通しが甘かった。

問 4月オープンは確実にできるか。

答 徐々にさまざまな人がそろい、核になる人も入ったので、3月までには準備完了できると確信している。

問 地域住民には説明しているか。

答 関係者、住民向けの説明会やお知らせは、なるべく早く漏れなくやっていく。

小川支所 土壌汚染調査は必要か 安心・安全のため実施

問 旧小川診療所跡地の土壌汚染調査は必要か。

答 法的には義務付けられてはいないが、安心・安全のために実施する。

問 仕切りのためのフェンスや雨水排

水など、実際に使用していく上でさらなる検討が必要では。

答 通常の運営に支障がなく、隣地へ迷惑をかけないよう設計していく。関係者の意見を聞きながら、皆さんが使いやすい施設になるよう検討する。

整備でほ場 1.5 倍に



洞口 繁喜さん (小本・71歳)

この整備でほ場が1.5倍に。大牛内は、内陸部に比べ収量は落ちるが、作業しやすいのがメリット。新規でワサビに挑戦する人にも活用してほしいです。

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をたずねること。報告や説明を求めます。9月定例会では、7人の議員が登壇し、町政課題への提言や質問を行いました。

7人の議員が登壇

一般質問



町の考えを問う



一般質問全文は、町ホームページで公開しています。スマートフォンはこちらから。

小本で観測史上最大大雨被害対策に請願



大雨により沢から雨水や土砂があふれ出す卒郡地内

8月13日からの大雨は、小本で1時間降水量が124ミリ、24時間降水量574.4ミリで、それぞれ気象庁観測史上最大を記録。豪雨の影響で、住宅浸水や道路への冠水など被害が発生しました。中島・卒郡地区の代表者から、大雨被害対策への請願が出され、産業常任委員会（三田地久志委員長）に付託。審査の結果、継続審査となりました。

◆請願の名称
令和5年8月13日からの大雨被害対策に関する請願
*請願人
中島部落会代表者
会長 千葉鉄郎
卒郡部落会代表者
会長 三浦猛詩
*紹介議員
千葉泰彦議員
*付託先
産業常任委員会
*請願事項
①中島地内の砂防ダム流末への排水施設の設置
②中島地内設置済み排水施設の排水能力の向上
③卒郡地内の排水路の整備

*審査の結果
継続審査
慎重な審査を必要とするため。

龍泉洞は19日間閉洞
推計2千万円の損失

大雨により龍泉洞は19日間閉洞しました。例年8月は最も観光客が訪れる書き入れ時であり、大きな損失となりました。昨年度の入洞実績から試算すると、この19日間の閉洞で約2万人以上の来場に影響。約2千万円の損失と推計されます。周辺飲食店などへの影響も大きく、今後の対策の検討が重要です。

陳情
1件を採択

9月定例会に提出された陳情1件を産業常任委員会に付託。審査の結果、採択と決定しました。

◆森林環境譲与税の譲与基準見直しに関する要望書
*提出者 岩泉町森林組合 代表理事組合長 畠山直人
*付託先 産業常任委員会
*要望事項 令和元年度から、森林経営管理制度の開始とともに森林環境譲与税が導入。着実に活用実績は増加している。森林の整備を一層推進するため、森林の多い地域への森林環境譲与税の配分を高めるよう譲与基準を見直すことを国へ要請されたい。

*審査の結果 採択

三田地和彦 議員 (14ページ) ●無償譲渡する住宅支援を
*その他の質問
気候変動による被害対策は

畠山 昌典 議員 (14ページ) ●自治体DXの推進を
*その他の質問
いわいずみ短角牛のPRを

坂本 昇 議員 (15ページ) ●気象情報の認識共有を
*その他の質問
(一社)岩泉町スポーツ協会との連携・協力を

畠山 和英 議員 (15ページ) ●安全快適な道路環境維持を
*その他の質問
国県道整備促進に向けた町の支援体制は
河川内の立木伐採撤去を
町地域公共交通計画の策定内容
・公共交通網の見直しと構築は
・「大川コミタク」の町中心部への延伸
・JR代替バスの宮古市内での乗降車

千葉 泰彦 議員 (16ページ) ●協力隊の更なる活躍は
*その他の質問
第3セクターの自立は

林崎竟次郎 議員 (16ページ) ●所得条件緩和し給付を
*その他の質問
新型コロナウイルス感染症の状況は
物価高騰における中小事業者への支援は

三田地久志 議員 (17ページ) ●バイオ炭で脱炭素化を



情報を正しく理解し、いち早い自主避難を

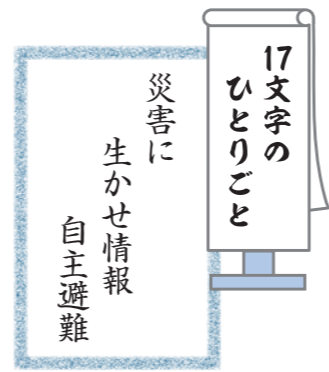
問 大雨や洪水など住民の生活を脅かす災害が、いつ発生するかわからない。「警戒レベル（避難）」「警戒レベル（避難）」や「顕著な大雨に関する気象情報」などの認識を共有し、注意報や警報の段階で、住民が自主的に避難準備を整える体制づくりを目指すべきでは。

問 気象情報の認識共有を啓蒙を進め理解深める



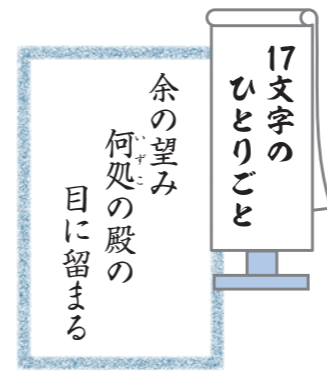
坂本 昇議員

一般質問・答弁 全文はこちらから



三田地和彦議員

一般質問・答弁 全文はこちらから



問 無償譲渡する住宅支援を

答 効果などを引き続き検討



思い切った住宅支援で人口減少に歯止めを

問 町の人口減少を何とか食い止めなければならぬとの思いで住宅支援の質問を重ねてきた。

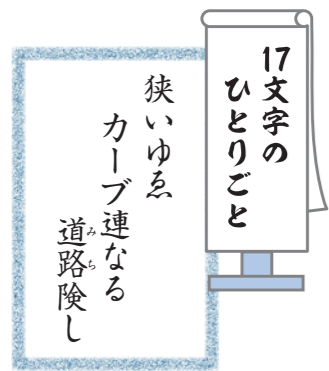
町長 町では、定住促進住宅の新築や宅地分譲、空き家バンクでの斡旋、住宅リフォーム補助の拡充など、ニーズを踏まえながら住宅対策を積極的に推進してきた。これまでの移住者数は、延べ11人。近隣市町村の人口規模など周辺を取り巻く

環境の違いもあり、一概に七ヶ宿町の事例が、本町での日常生活の営みに合ったものとして効果的であるか、支援額が適当かどうかなど、熟慮が必要。引き続き検討しながら、人口減少対策に結びつく住宅対策を進めていきたい。



畠山 和英議員

一般質問・答弁 全文はこちらから



問 県道大川松草線など未改良区間の道路が、安全・快適に走行できるように適切な維持整備を図りたい。



立木が生い茂り 空が見えない道路が随所に

問 安全快適な道路環境維持を

答 早期の道路改良につなげる

道路トンネル内に視線誘導標など安全装置の備え付けが必要では。

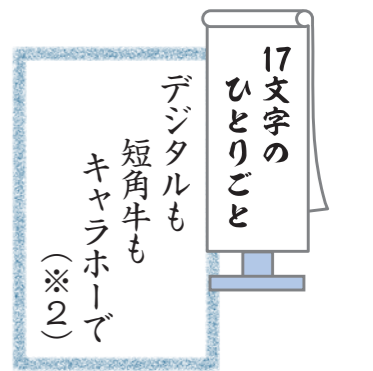
町長 道路沿いの立木伐採は、年度ごとの伐採区間を要請するなど安全通行を確保する。路面舗装補修は、本年度の県要望で「国道455号」や「国道340号・県道大川松草線の整備促進」の項目

(※) 近助は、ご近所同士の助け合い。共助は地域やコミュニティといった周囲の人たちが協力して助け合うこと



畠山 昌典議員

一般質問・答弁 全文はこちらから



問 国は、各自治体の行政サービスでデジタル技術やデータを活用し、住民の利便性を向上させ、業務効率化も図ることを求めている。



短角牛串の販売を通して魅力を発信

(※1) デジタル技術を駆使し、生活や業務の質を高めること。他自治体の導入例：各種証明書のコンビニ交付など (※2) 南部牛追唄の合の手の一つ「キアラホー」は、牛方が牛に対する掛け声。進行という意味



三田地久志議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 町長は、2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を表明した。過剰伐している竹などでバイオ炭(※1)を造り、それを畑に漑き込むことで有機農業に繋がる。「Jクレジット」(※2) 創出者と

もなり、お金の循環も生まれるが、取り組む考えはないか。
町長 農地でのバイオマス炭施用は、国でもバイオマス炭施用による炭素貯留の取り組みを推進する中で、最近注目されている。地域おこし協力隊で組織す

問 バイオ炭で脱炭素化を

答 導入可能性を研究する



獣のすみかとなってきた竹林の活用を

17文字の
ひとりごと

温暖化
バイオ炭で
脱炭素



千葉 泰彦議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 協力隊の更なる活躍は

答 現在の地域おこし協力隊の募集案件数、活動隊員数など概況は。

町長 募集は26案件。9月1日現在の活動隊

問 隊員の募集案件を



国内外から協力隊が各分野で活躍しています

員は22人。農林業、福祉、子育てなど各分野で活動している。隊員卒業後の移住は10人。

町長 今後も隊員の活動と定住化への支援を行い、隊員と町民の協働による地域活性化を進めたい。
問 セルフは昨年度20億の売り上げ。自立に向け町の投資比率を25%まで下げないか。
町長 財政リスクなどの把握、経営悪化防止に必要な措置。今後の研究課題とする。

17文字の
ひとりごと

できるから
リスクをとって
飛躍へと

立案する際の配慮は。
町長 事前体験会の実施や隊員ごと状況に合わせた提案をしている。

問 地域おこし協力隊の今後の方針、期待は。

問 所得条件緩和し給付を

答 財源確保など課題多い



林崎竟次郎議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 ガソリンや電気料金などの物価高騰で、町民の暮らし向きは悪化している。

付金がもらえないのは「つらい」と言う声に添えるべきと思うが、町長の考えは。

国や県の対策を踏まえ「物価高騰対策臨時給付金」の検討を進める際には、所得300万円未満の世帯も対象にすべきではないか。「非課税でないから給

町長 これまで国や県の施策に併せて、住民税非課税世帯に対する給付や、高齢者や障がい者などに対する福祉灯油事業など、物価高

騰に伴うさまざまな支援策を講じてきた。今後も、国や県の物価高騰対策の動向を注視しながら対応していく。提言の世帯を対象とする場合、現状では財源の確保や対象とする所得水準の捉え方など課題も多いと考えている。



ガソリンの高騰などは家計に大きく影響

17文字の
ひとりごと

給付金
課税世帯も
対象に

男女共同参画の実現へ 基礎知識や理念を研修

政務調査会
研修会

議会全員で組織する政務調査会(坂本界会長)は8月3日、男女共同参画の実現に向け研修会を実施しました。講師に岩手県男女共同参画センター長の山屋理恵氏を迎え、基礎的知識や理念など理解を深めました。

男女共同参画とは

女性も男性も全ての個人が互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合う。性別に関わりなく、職場、学校、家庭、地域など社会のあらゆる分野で個性と能力を十分に発揮できる社会のことです。

に影響を受け誰にでもあります。気付かず他者の人権を傷つける恐れがあり、個々の意識が重要と認識しました。

研修の感想

・性の多様に壁をつくらず、話を聞けるようになりたい。
・理解することができ、緊急的に行動が必要だと感じた。
・具体的に何をすればよいか、さらに知見を高めた。



「一人一人の意識が大切」と話す山屋氏

アンコンシャス・バイアスの解消

アンコンシャス・バイアスとは、無意識の偏見や思い込み、考え方。社会的環境や文化

次は、常任委員会レポート

(※1) 生物資源を材料とした、生物の活性化と環境の改善に効果のある炭化物のこと
(※2) 省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO₂などの排出削減や、適切な森林管理によるCO₂などの吸収量を「クレジット」として国が認証する制度

目のバリアフリー 泉高生からの提言

広報

広報広聴常任委員会（千葉泰彦委員長）は7月26日、目のバリアフリーに配慮した、誰もが読みやすい議会だよりの作成を目指し研修会を実施しました。講師に岩泉高校3年の有原光昭さんを招き、色覚多様性への知識を深めました。

町の広報紙に配慮を 情報格差なくすため

有原さんは、色弱の友人が色の認識で生活に支障をきたしていたことから色覚検定2級を取得。岩泉高校のKIZUKIプロジェクト（※1）のテーマとして探究しました。町の広報紙など、ま



とても分かりやすく説明する有原光昭さん

議会だよりの色は 白黒と青色が最適

先に行政がバリアフリー化を推進していくことが大切。住みやすい町づくりや情報格差をなくすことにつながると提言しました。

議会だよりへの講評では、白地に黒と有彩

色（※2）で作成している議会だよりの3色目に青色を使うことを提案。多くの色弱は赤・緑が区別しにくいのに対し、青色は唯一、同じ色を見ることができると述べた。

議会だよりの良い点

- *白地黒字の色彩設計
- *統一感があるシンブルデザイン
- *間伐寄りの紙使用

議会だよりの悪い点

- *有彩色を使った色指定の配慮不足

所感

科学的分析に基づき分かりやすく説明していただき、よく理解できました。今後もKIZUKIプロジェクトを応援し、岩泉高校の生徒さんと共に学び、成長していけるように取り組んでいきます。（千葉泰彦）

ターゲット絞って 議会だより作成を

町村議会広報研修会

9月27日に、日経ホール（東京都）にて令和5年度町村議会広報研修会が開催され、千葉泰彦委員長と佐藤安美副委員長が参加しました。

講師からは、読者の心を掴む見出しの付け方や、デザインの前に必ずターゲットを絞ることなど講義がありました。

研修では、広報活動を行う上で気を付けなければならない、著作権や肖像権など権利侵害の知識を習得。

広報紙づくりの基礎として、読者に読んでもらうため住民の「見たい・知りたい」心理を刺激する伝え方が重要と再認識。ターゲットを絞って議会だよりを作成すると書くべきことが決まり、より伝わることを学びました。研修を生かし、分かりやすい議会だよりを作っていきます。



コロナなどで5年ぶりに受講

所感

議会だよりのターゲットを「無関心層」にすることは、議会への住民参画のために重要と感じた。（佐藤安美）

（※1）生徒の主体性を育むため、課題を深く探究する総合学習の一環。生徒自らの力で課題を発見し、解決のプロセスを編み出していく。
（※2）赤青緑のように彩りがある色。

総務 廃校の民間活用 地域浸透が課題

総務常任委員会（畠山昌典委員長）は9月28日、廃校舎の活用状況と開館延期となった歴史民俗資料館の進捗状況を調査しました。



パソコン販売の展示ブース

廃校舎・IT拠点に
地域づくりに貢献
パソコンなどの再生事業を行うリングロー（株）（本社・東京都豊島区、砦敏之代表取締役）は、地域振興の一環で全国の廃校舎を活用した「おかえり集学校プロジェクト」を推進。

人が集いつながるIT交流拠点とし、少子高齢化対策や雇用創出などさまざまな面で持続可能な地域づくりに貢献していこうというものです。
「二升石集学校」は10月に開校予定となっており、地域への浸透を図っていきます。

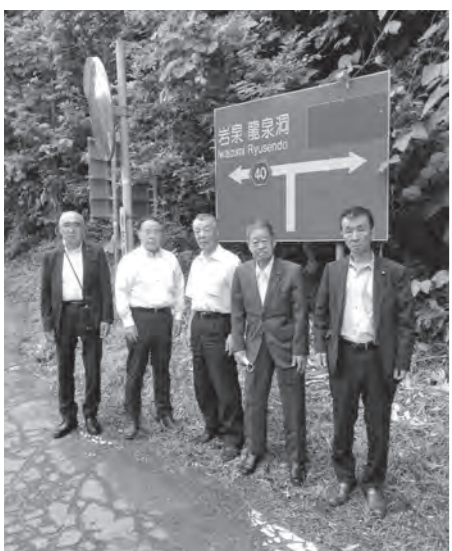
（所感）
今回は旧小学校2施設の再活用状況を調査。民間活用と資料館の整備でしたが、いずれもこれからの住民への浸透と協力、さらなる整備が必要と認識しました。
引き続き遊休施設の活用促進に向け見守っていきます。
（畠山昌典）

- 二升石集学校の
主な事業の概要
- *IT・OA機器の
販売・サポート
- *パソコンやスマート
フォンの無料相談
- *地域住民の交流スペースとして無料
開放

歴史民俗資料館 急ピッチで作業

旧小川小学校へ整備される歴史民俗資料館。大小合わせて15部屋をさまざまな資料展示室に分ける計画で、急ピッチで作業が進められています。

産業 町内県道の4路線 整備の状況を調査



どの路線も早期改良が求められます

整備の必要な箇所 幅員狭く視界悪い

町内県道の4路線の整備必要箇所を調査。どの路線も幅員が狭

- 一般県道大川松草線
- 一般県道普代小屋瀬線
- 一般県道安家玉川線
- 一般県道有芸田老線

産業常任委員会（三田地久志委員長）は6月29日、町内県道の整備必要箇所の現況を調査。農林水産業、観光業・商工業の振興策として、本年4月久慈市にオープンした「道の駅いわて北三陸」を視察しました。

く、道路沿いに草木が生い茂ると視界が悪く走行しにくい状況。降雪や凍結すればさらに危険であると認識。

早期整備が望まれる一方、現実的には道路改良整備には長い年月を要します。安全で快適に走行できるよう適切な維持管理がされるよう求めていきます。

限られた予算で計画的かつ着実に道路整備が図られるよう調査を継続します。

道の駅いわて北三陸 経済効果などを調査

道の駅いわて北三陸の視察では、フードコートなど施設や店舗見学を行いました。地域への経済効果などを調査し、本町の施策のヒントを探りました。



福島県田村市議会



産業建設常任委員会の皆さん

- ① 龍泉洞
- ② 33736人
- ③ 458.33km²

青森県外ヶ浜町議会



産業建設常任委員会の皆さん

- ① JR岩泉線
- ② 5204人
- ③ 229.92km²

秋田県美郷町議会



議会広報常任委員会の皆さん

- ① 議会広報
- ② 17910人
- ③ 168.32km²

秋田県井川町議会



議会だより編集委員会の皆さん

- ① 議会広報
- ② 4326人
- ③ 47.95km²

矢巾町議会



広報広聴常任委員会の皆さん

- ① 議会広報
- ② 26337人
- ③ 67.32km²

県内外から5議会の行政視察を受け入れ

当議会では、他自治体からの行政視察を受け入れていきます。行政視察にきていただいた議会の皆さんを紹介いたします。

- ① 視察テーマ
- ② 人口(R5.9月末現在)
- ③ 面積

議員は何してんのや

議員や議会は何をしているの?という声を聞きます。ここでは、議会や議員の主な活動状況をお知らせします。(全日程はQRコードで)



議会の動き

7月

- 10日 国道340号整備促進期成同盟会総会(宮古市)
- 20日 岩手県に対する市町村要望(宮古市)
- 25日 岩手県町村議会議長会政務調査会・研修会(住田町:26日まで)

8月

- 1日 戦没者追悼式(町内)
- 4日 町内道路整備促進期成同盟会3団体合同要望(盛岡市)
- 10日 協同組合マルチワークいわいずみ設立総会(役場)
- 23日 県選出国會議員との懇談会(東京都)
- 26日 岩泉・昭島友好都市協定10周年に向けた交流(東京都:27日まで)

9月

- 6日 議会運営委員会(役場)
- 13日 第3回定例会一般質問(議会議事堂)
- 15日 一般質問(議会議事堂)
- 19日 条例補正予算審査特別委員会(役場)
- 20日 決算審査特別委員会(役場:22日まで)

議会を傍聴しませんか

次の定例会は、

- 12月14日(木) 本会議・一般質問
- 15日(金) 一般質問
- 19日(火) 条例補正予算審査・本会議

の予定です。

※都合により変更となる場合があります。

編集後記

▼今夏の猛暑、酷暑は9月議会最終日22日の彼岸まで続きました。外の暑さに負けぬ熱気あふれる論戦が交わされました▼「町政監視・チェック」「政策提言」機能の役割を担う決算議会。事業成果、費用対効果や今後の施策、予算の方向性を取り上げました▼本号特集は「議員定数と報酬」「議会・議員の役割」。基本条例推進委員会の調査内容と議会の今後の方向性です▼コロナ禍があけ、議会への町民参画を図る「議員と語る会」を開催予定です。議会や町政に対する声を聴きに参ります。広報広聴常任委員
畠山 和英

広報広聴常任委員会

委員長	千葉 泰彦
副委員長	佐藤 安美
委員	八重樫 龍介
	坂本 昇
	畠山 和英
	畠山 昌典



古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と、森林の再生に取り組む岩手県岩泉町との連携により実現した「森の町内会一問伐に寄与した紙」を使用しています。